

政策	5 安全な港	施策推進 責任者	港営部長 企画調整室長 建設部長
基本施策	08 施設の安全性・信頼性の向上		
個別施策	23 港湾施設の機能を維持・強化する		

1. PLAN(目的・内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	港湾利用者、立地企業
	サービスの対象物(何を)	港湾施設
	意図(どういう状態にしたいのか)	機能を確保し、適正に管理されている。
内容	港湾施設について法定点検や維持管理点検などの日常管理を適切に行い、必要な施設の改良・補強工事を早急に進めるとともに、維持管理計画の実施によって、港湾施設の機能を確保し、適正に管理していきます。	
目標	港湾施設の補修を計画的かつ効率的に実施するため、港湾施設の維持管理計画を作成し、機能の維持・強化を図ります。	目標達成に影響する外的要因等

成果指標	実績等	年							目標	指標の説明(式)
		平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25			
必要な施設における維持管理計画書の作成(累計)	実績	件	4	500	976	1,100	1,432		1,432	・平成24年度目標 目標年度までに維持管理計画書を作成する施設数【内訳】土木:1,057、建築:202、機械:80、電気:23
	達成率	%	0.3	34.9	68.2	76.8	100.0			
要求機能が確保されていないため使用停止した港湾施設の数	実績	件	0	0	0	0	0	0	0	・平成25年度目標 老朽化等のため港湾施設条例上の使用停止を告示した港湾施設
	達成度	○/×	○	○	○	○	○	○	○	

2. Do(個別施策を構成する各事務事業の取組内容と今後の方向性)

重点化	担当課名	事務事業名(コード)	事務事業の概要	主な活動・成果指標	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	事業費の合計	目標値(年度)	平成25年度実施事業に基づく評価結果										
					実績	実績	実績	実績	実績	実績見込み			平成25年度までの状況※1	事務事業※2	成果※3	コスト※4	備考(判断の理由等)						
					上段:指標達成状況													下段:事業費(千円・人件費込)					
	(企画調整室) 計画担当	小型船だまり計画の策定(港湾計画の策定)(個23事01)	官公庁船、業務船、作業船を機能に応じた適切な配置を検討するものです。	策定進捗率(%)	18.5	21.4	24.3	27.1	35.7	42.9	122,372	100 累計(H25)	遅れ	延伸・統合	→	→	・社会情勢の変化等を踏まえ、これまで取りまとめた基本方針や施策展開等の検証を行っていくため。(H25→H27に延伸) ・港湾計画の策定に係る事業として統合。						
	(企画調整室) 事業担当	金城ふ頭岸壁(-10m)(改良)整備事業(個23事02)	施設の安全性の確保を図るため、岸壁を改良します。規模:W54~W57 800m	事業進捗率(%)	79.7	91.2	100.0				312,431	100 累計(H22)	完了				目標を達成したため。						
	(港営部) 海務課	水域施設・係留施設の維持管理(個23事03)	航路、泊地などの水域施設及び岸壁、係留浮標などの係留施設を巡視・点検し、経年劣化又は利用者による損傷・不良箇所を補修し、又は補修させます。	良好な係留施設及び泊地率(%)	78.0	82.0	75.0	71.0	72.3	76.5	328,836	100 (継続)	順調	継続	→	→	事故防止などの安全対策上不可欠であるため。						
	(港営部) 港湾管理事務所	荷さばき地の管理運営(コンテナターミナルを除く)(個23事04)	施設の使用状況を把握し、無許可使用や施設への損傷の有無に注意を払い、損傷等の不具合が生じた場合は、緊急度に応じた補修を実施します。	施設提供率(%)	97.9	92.9	93.3	99.9	100.0	100.0	245,389	100 (継続)	順調	継続・統合	→	→	・事故防止などの安全対策上不可欠であるため。 ・在来施設(上屋・荷さばき地)の維持管理に係る事業として統合。						
	(港営部) 港湾管理事務所	上屋の管理運営(個23事05)	上屋の使用許可事務、及び施設の点検を実施し、不良箇所があれば補修を実施します。	修繕計画の進捗率(%)	11.1	11.1	53.3	60.0	66.7	66.6	592,644	100 (継続)	順調	継続・統合	→	→	・事故防止などの安全対策上不可欠であるため。 ・在来施設(上屋・荷さばき地)の維持管理に係る事業として統合。						
	(港営部) 港湾管理事務所	臨港道路の維持管理(個23事06)	臨港道路を巡視することにより、損傷した箇所があれば速やかに応急措置をします。	道路損傷等に起因する事故件数(件)	1	3	1	0	1	0	138,829	0 (継続)	順調	継続	→	→	事故防止などの安全対策上不可欠であるため。						
	(港営部) 港湾管理事務所(コンテナ)	荷さばき地の管理運営(コンテナターミナル)(個23事07)	飛島ふ頭北・南公共コンテナターミナル補修箇所について、利用者の要望を聞きつつ、優先順位を定めて実施します。	飛島ふ頭北・南公共コンテナターミナル内事故件数(件)	0	0	0	0	0	0	429,686	0 (継続)	順調	継続・統合	→	→	・事故防止などの安全対策上不可欠であるため。 ・公共コンテナターミナル及び受変電設備の維持管理に係る事業として統合。						
	(港営部) 港湾管理事務所(コンテナ)	荷役機械(ガントリークレーン)及び受変電設備の維持管理(個23事08)	荷役機械(ガントリークレーン)及び受変電設備を点検・検査し、不良箇所の修理を行います。	荷役中における公共ガントリークレーン稼働率(%)	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	3,874,836	100 (継続)	順調	継続・統合	→	→	・事故防止などの安全対策上不可欠であるため。 ・公共コンテナターミナル及び受変電設備の維持管理に係る事業として統合。						
	(建設部) 維持管理担当	維持管理計画(基本計画)の策定(個23事09)	港湾施設を適切に維持管理するための供用期間、維持管理レベル(予防保全、事後保全)等の基本事項の設定を行います。	策定進捗率(%)	100.0						0	100 累計(H20)	完了				目標を達成したため。						
	(建設部) 維持管理担当	維持管理計画書の作成(個23事10)	各施設の現状把握(目視、腐食調査、橋梁点検)に基づく、維持管理計画書の作成を行います。	計画書作成進捗率(%)	0.3	34.9	68.2	76.7	100.0		310,250	100 累計(H24)	完了				目標を達成したため。						
	(建設部) 施設工事担当	吹き付けアスベスト施設の点検(個23事11)	本組合の所管する施設の内アスベストの使用された施設について、実施された定期点検報告を取りまとめます。	アスベスト測定対象施設の確認率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	16,566	100 (継続)	順調	継続	→	→	継続して点検する必要があるため。						
	(企画調整室) 事業担当	弥富ふ頭道路(改良)整備事業(個23事12)	車両走行の安全性と快適性を図るため、臨港道路を改良します。規模:延長2.9km、幅員3.5m×4~6車線	事業進捗率(%)		1.6	20.2	100.0			568,096	100 累計(H23)	完了				目標を達成したため。						
	(企画調整室) 事業担当	港湾施設の維持補修事業(個23事13)	整備場所:名古屋港内 内容:港湾施設である係留施設(岸壁、船だまり、物揚場)及び臨港交通施設(道路、橋梁)等の維持補修	事業進捗率(%)			17.1	54.3	60.0	67.5	414,207	100 累計(H26)	順調	継続	→	→	順次施設を維持補修する必要があるため。						
	(企画調整室) 事業担当	飛島ふ頭道路(改良)整備の事業化(個23事14)	飛島ふ頭内の臨港道路改良及び交差点改良の事業化に向けて、関係者調整及び予算要求を行います。	要求額の予算化(回)				1			1,465	1 (H23)	完了				目標を達成したため。						

4. ACTION(個別施策全体の今後の取組の方向性)

次期政策体系への方向性	「次期政策体系への方向性」を判断した理由(本組合財政収支への影響の考察を含む)	
成果※3	コスト※4	
→	→	・現政策体系のもと、港湾施設の維持補修、高潮防波堤の改良を進めてきました。今後も施設の老朽化は進み、防災力の向上も求められるなか、次期政策体系においては、更新・修繕費用のコスト拡大が想定されるため。
次期政策体系への展開(個別施策の構成、新規事業の創出、事務事業の見直し等)		
PLAN	ACTION	・小型船だまり計画の策定(港湾計画)については、これまでに取りまとめた基本方針や施策展開の検証などを行い、平成27年度の改訂を目標に取り組んでいきます。
DO	CHECK	・高潮防波堤(改良)整備事業については、背後地域の生命財産を守るため、完了の目標年度に向け、着実な整備を促進します。
		・アセットマネジメント推進計画については、実施状況の確認や効果を検証し、必要に応じて見直しを行いながら進めていきます。
		・中川口通船門(門扉)の補強を着実に進めていきます。

3. CHECK(個別施策全体における取組状況と課題)

現政策体系における主な取組など	現政策体系における課題認識など
<ul style="list-style-type: none"> ・小型船だまりの計画については、パブリックコメント等を実施し、基本計画の方針、施策展開について検討しましたが、国の新たな成長戦略や総合物流施策大綱など、将来動向を見極めながら計画内容を検証していくこととしたため、平成25年度の改訂は行いませんでした。 ・高潮防波堤については、最大クラスの地震・津波などに対しても粘り強い構造となるよう国が改良を進めております。 ・平成24年度までに策定した港湾施設等の維持管理計画を基に、更新・修繕等の平準化を図る港湾施設等アセットマネジメント推進計画の策定作業を進めています。 ・中川口通船門(門扉)の補強工事に着手しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小型船だまり計画の策定(港湾計画の策定)については、平成27年度の改訂を目標に取り組んでいく必要があります。 ・国の事業の高潮防波堤(改良)整備事業については、改良の方法等が見直され、事業費が拡大となりましたが、背後地域の生命財産を守るため、着実な整備が必要です。
<ul style="list-style-type: none"> ・現場管理においては利用者との調整を密に行い、迅速で効果的な補修を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務事業構成は妥当です。
現政策体系における事務事業の適正性	

重点化	担当課名	事務事業名(コード)	事務事業の概要	主な活動・成果指標	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	事業費の合計	目標値(年度)	平成25年度実施事業に基づく評価結果				
					実績	実績	実績	実績	実績	実績見込み			平成25年度までの状況※1	事務事業※2	成果※3	コスト※4	備考(判断の理由等)
					上段:指標達成状況												
					下段:事業費(千円・人件費込)												
◎	(企画調整室)事業担当	高潮防波堤(改良)整備事業(個23事15)	老朽化対策及び耐波性向上のための改良(延長4.6km)を行います。【再掲】個21事18	事業進捗率(%)				0.6	9.2	42.5	1,288,740	100 累計(H26)	やや遅れ	延伸			南海トラフの巨大地震に対応した工事工法の見直しにより、目標年度を延伸しました。また、工法の変更によりコスト拡大となりました。(H26→H27に延伸)
	(企画調整室)事業担当	飛島ふ頭道路(改良)整備事業(個23事16)	臨港道路の整備、改良及び交差点改良(延長2.7km、幅員3.5m/車線)を行います。	事業進捗率(%)					3.2	22.8	110,370	100 (H26)	やや遅れ	延伸			関係者調整の遅れにより目標年度を延伸したが、着実に事業進捗をはかっていくため。(H26→H28に延伸)
	(建設部)施設事務所	中川口・松重におけるポンプ施設・通船門等の管理(個23事17)	中川口ポンプ施設・通船門等について保守点検を行い、不良箇所を発見した場合は緊急度に応じた補修を実施します。	防災時の施設の故障発生件数(件)					0	0	550,507	0 (継続)	順調	継続			災害時に異常なく稼働する必要があるため。
	(建設部)維持管理担当	港湾施設等アセットマネジメントシステムの策定(個23事18)	24年度までに策定した港湾施設等の維持管理計画の内容を基に、利用率、重要度及び投資効果等を考慮し、港湾施設の計画的な更新・修繕の実施や更新・修繕費の平準化を図るため、予防保全計画書の作成を含む港湾施設等アセットマネジメント推進計画の策定を行っていきます。	港湾施設等アセットマネジメント推進計画検討のためのワーキング等の実施(回)						3	23,652	5 累計(H26)	順調	継続			維持管理費用の最小化と平準化を図るため。
	(企画調整室)事業担当	金城ふ頭橋梁(改良)整備事業(個23事19)	橋梁の延命化が図られるとともに、走行車両の安全性が向上します。また、災害に強い橋梁となることで災害時の交通機能を確保することができます。	事業進捗率(%)						0	3,854	100 累計(H31)	やや遅れ	継続			引き続き災害時にも安全な交通機能を確保するため。
◎	(建設部)施設工事担当	中川口通船門(門扉)の補強(個23事20)	最新の知見に基づき、中川口通船門(門扉)の補強対策を進めます。	事業進捗率(%)						38.9	96,834	100 累計(H26)	順調	継続			住民及び企業の生命・財産を守るため。
					施策コスト(事業費合計)	832,177	753,066	1,238,678	1,579,096	1,207,578	1,987,369	9,429,564					

注)事業費は総事業費から本組合負担分を抽出して計上しています。

注)目標値欄の「(継続)」は完了年度を定めず行う事業です。この場合の目標値及び目標年度は、原則として平成25年度を中間目標として設定しています。

※1

記入	内容
完了	前年度以前に完了した事業
順調	80%の進捗度合
やや遅れ	60%以上の進捗度合
遅れ	60%未満の進捗度合

※2

記入	内容
継続	施策の成果向上・維持のため、事務事業を継続することが妥当
完了	目的を達成したため、事務事業を完了することが妥当
延伸	状況を勘案し、目標年度を先送りするもの
統合	他の事業とまとめ、一体的に評価することが妥当
休廃止	終期を設定し事務事業を廃止または休止することが妥当

「継続」、「統合」、「延伸」の事務事業のみ※3、※4を記入

※3

記入	内容
	拡大 何らかの改善策の実施により成果の拡大を必要とするもの
	維持 従来どおり進めていくもの
	縮小 一定の成果を達成、必要性が薄れているなどの理由で成果を縮小するもの

※4

記入	内容
	拡大 成果の拡大(または維持)のためにコストの拡大を必要とするもの
	維持 従来どおり進めていくもの
	縮小 一定の成果を達成、必要性が薄れているなどの理由でコスト縮減を図るもの